



広報

第767号

平成20年(2008年) 4月1日

毎月1日・15日発行

いながわ

人口 32,251人
世帯数 11,220件
(3月1日現在)

編集・発行
猪名川町総務課

〒686 0292 兵庫県川辺郡猪名川町上野字北畑11-1 電話番号 072 (766) 0001 (代表) ファックス番号 072 (766) 3732

20年度の主要な事業

【新規】

「(仮称)地域まちづくり協議会」組織化への支援

「いーなー スマイル あいさつ運動」の推進

第5次総合計画の策定(2カ年事業)

発達障害の相談専門員を配置

総合鳥獣被害防止柵の設置助成

「(仮称)猪名川上流の地域資源を活用するネットワーク会議」の創設

地上デジタルテレビ放送における電波状況調査

【拡充】

乳幼児等医療助成事業の拡大
認可外保育所などの利用者への助成金の拡大

妊婦健康診査受診費用の補助拡大

巡回相談員と小学校の「スクールアシスタント」の増員

【継続】

木間生旭ヶ丘線の整備

団塊世代の生きがいづくりへの活動支援

～真田町長が平成20年度施政方針を表明～

人の心が通い合うやさしいまちづくりを



元号が平成となり20年目を迎える節目の年として、希望に満ちた飛躍へと邁進する年とするため、全力で市政に取り組みます。平成の大合併により多くの合併市町村は、行政区域の拡大により地域間格差が生じるなど、さまざまなひずみに苦しんでいる現状があると聞き及んでいます。本町では、まちに対する住民の皆さんの愛着や自意識が高いことから、単独での行政運営が望ましい

2月25日に開会した第339回町議会定例会において、真田町長は、町政全般にわたる平成20年度施政方針を表明しました。これは、今年度に行う事業に対する町の考えを示したものです。この施政方針の各施策や事業概要をお知らせします。全文は町ホームページに掲載しています。また、役場総合案内窓口にも設置しています。

「人の心が通い合うやさしいまちづくり」としてソフト施策を中心に、人が財産であるまち、財産と感じてもらえるまちづくりに向けた施策を展開します。

まちづくり協議会の設立
地域のことは地域で決める」といった自己決定・自己責任の意識のもと、(仮称)地域まちづくり協議会」を小学校区ごとに

と判断したところであり、この判断が正しかったと言えるよう、みんなが元気で、活気あるまちをめざした参画と協働のまちづくりを進めていく必要があると感じています。

本町は、これまでインフラ整備に力を注ぎ、先行投資による資産づくりはほぼ整ってきており、これからは「ハード」から「ソフト」の時代となつてきます。将来に向け現状に満足することなく、夢や希望が持てる

「健康福祉のまちづくり」福祉センター内に「障害者相談窓口」および「就労支援センター」を設置し、障害者福祉の充実に努めます。

医療においては「阪神北広域こども急病センター」の診療を開始し、安定的かつ切れ目のない小児救急医療の提供を行います。また、町ぐるみ健康診を特定健診・特定保健指導に改め、生活習慣病の予防に努めます。

「地域健康づくり支援員養成事業」では、生活習慣病予防の推進を行う支援員を養成します。

教育文化のまちづくり
学力の基盤となり豊かな人間関係を培う「言葉の力」を高めるため、「ステップアップ」言葉の力「まちづくり事業」に引き続き取り組みます。

また、障害のある児童生徒のニーズに応じた教育的支援を行う特別支援教育では、巡回相談員と「スクールアシスタント」

組織化できるよう引き続き支援します。

広報いながわが変わりました

文字を大きく カラー紙面に
読みやすく親しみやすい広報紙にするため、今月号から文字を大きくし、1面と最終面をカラー印刷でお届けします。

また、歴史街道の拠点施設「多田銀銅山 悠久の館」をさらに親しまれる施設となるよう努めます。

魅力ある都市環境を築くまちづくり
市街化調整区域の活性化促進をめざすため「まちづくりアドバイザー」を県から招き、「特別指定区域制度」の活用や土地利用計画など、地域のまちづくりについて学習・研究します。

町道整備では、今年度末の完成をめざし、木間生旭ヶ丘線の整備を継続し、また生活道路の道路拡幅に取り組みます。

安全で快適なまちづくり
広域ごみ処理施設の平成21年4月の本格稼働に向け、本年11月より家庭

系ごみの試運転を開始することから、収集区域の見直しや、収集体制の強化を図ります。

災害時における災害弱者の把握や情報伝達体制の整備、避難支援など、具体的な支援計画の策定を進めます。

また、団塊世代の生きがいづくりでは、町内産野菜を使った料理教室や

講演会などとともに、知識・技術を人材情報として分野ごとにまとめ、まちづくり活動で生かせるよう支援します。

産業のまちづくり
農地の多面的機能の保全と積極的活用のため、法人組織設立なども視野に入れ、適正な農地活用に取り組みます。

観光では、近隣市町・民間事業者などが相互連携し地域の活性化を図る(仮称)猪名川上流の地

域資源を活用するネットワーク会議」を立ち上げ、広域的な観光資源の発掘・情報発信を行います。

歴史街道では、彫刻の道と歴史街道との観光資源の一体的な活用を進めるとともに、観光ボランティアガイドのさらなる活用に向けた制度の啓発に努めます。

補助拡大に努めます。平成12年に策定した「第4次総合計画」も残り2年となり、新たに今後10年間のまちづくりを方向付ける「第5次総合計画」は、新

子育で支援の充実に向け、乳幼児等医療助成事業の対象を、新たに小学校就学前までの通院、および小学校6年生までの入院の一部負担金の無料化に取り組みとともに、認可外保育所などの利用者への助成金の拡大などを行います。

また、歴史街道の拠点施設「多田銀銅山 悠久の館」をさらに親しまれる施設となるよう努めます。

また、団塊世代の生きがいづくりでは、町内産野菜を使った料理教室や

講演会などとともに、知識・技術を人材情報として分野ごとにまとめ、まちづくり活動で生かせるよう支援します。

産業のまちづくり
農地の多面的機能の保全と積極的活用のため、法人組織設立なども視野に入れ、適正な農地活用に取り組みます。

観光では、近隣市町・民間事業者などが相互連携し地域の活性化を図る(仮称)猪名川上流の地

域資源を活用するネットワーク会議」を立ち上げ、広域的な観光資源の発掘・情報発信を行います。

歴史街道では、彫刻の道と歴史街道との観光資源の一体的な活用を進めるとともに、観光ボランティアガイドのさらなる活用に向けた制度の啓発に努めます。

補助拡大に努めます。平成12年に策定した「第4次総合計画」も残り2年となり、新たに今後10年間のまちづくりを方向付ける「第5次総合計画」は、新

子育で支援の充実に向け、乳幼児等医療助成事業の対象を、新たに小学校就学前までの通院、および小学校6年生までの入院の一部負担金の無料化に取り組みとともに、認可外保育所などの利用者への助成金の拡大などを行います。

また、歴史街道の拠点施設「多田銀銅山 悠久の館」をさらに親しまれる施設となるよう努めます。

また、団塊世代の生きがいづくりでは、町内産野菜を使った料理教室や

講演会などとともに、知識・技術を人材情報として分野ごとにまとめ、まちづくり活動で生かせるよう支援します。

産業のまちづくり
農地の多面的機能の保全と積極的活用のため、法人組織設立なども視野に入れ、適正な農地活用に取り組みます。

観光では、近隣市町・民間事業者などが相互連携し地域の活性化を図る(仮称)猪名川上流の地

また、歴史街道の拠点施設「多田銀銅山 悠久の館」をさらに親しまれる施設となるよう努めます。

また、団塊世代の生きがいづくりでは、町内産野菜を使った料理教室や

講演会などとともに、知識・技術を人材情報として分野ごとにまとめ、まちづくり活動で生かせるよう支援します。

産業のまちづくり
農地の多面的機能の保全と積極的活用のため、法人組織設立なども視野に入れ、適正な農地活用に取り組みます。

観光では、近隣市町・民間事業者などが相互連携し地域の活性化を図る(仮称)猪名川上流の地

域資源を活用するネットワーク会議」を立ち上げ、広域的な観光資源の発掘・情報発信を行います。

歴史街道では、彫刻の道と歴史街道との観光資源の一体的な活用を進めるとともに、観光ボランティアガイドのさらなる活用に向けた制度の啓発に努めます。

補助拡大に努めます。平成12年に策定した「第4次総合計画」も残り2年となり、新たに今後10年間のまちづくりを方向付ける「第5次総合計画」は、新

子育で支援の充実に向け、乳幼児等医療助成事業の対象を、新たに小学校就学前までの通院、および小学校6年生までの入院の一部負担金の無料化に取り組みとともに、認可外保育所などの利用者への助成金の拡大などを行います。

また、歴史街道の拠点施設「多田銀銅山 悠久の館」をさらに親しまれる施設となるよう努めます。

また、団塊世代の生きがいづくりでは、町内産野菜を使った料理教室や

講演会などとともに、知識・技術を人材情報として分野ごとにまとめ、まちづくり活動で生かせるよう支援します。

産業のまちづくり
農地の多面的機能の保全と積極的活用のため、法人組織設立なども視野に入れ、適正な農地活用に取り組みます。

観光では、近隣市町・民間事業者などが相互連携し地域の活性化を図る(仮称)猪名川上流の地

また、歴史街道の拠点施設「多田銀銅山 悠久の館」をさらに親しまれる施設となるよう努めます。

また、団塊世代の生きがいづくりでは、町内産野菜を使った料理教室や

講演会などとともに、知識・技術を人材情報として分野ごとにまとめ、まちづくり活動で生かせるよう支援します。

産業のまちづくり
農地の多面的機能の保全と積極的活用のため、法人組織設立なども視野に入れ、適正な農地活用に取り組みます。

観光では、近隣市町・民間事業者などが相互連携し地域の活性化を図る(仮称)猪名川上流の地

域資源を活用するネットワーク会議」を立ち上げ、広域的な観光資源の発掘・情報発信を行います。

歴史街道では、彫刻の道と歴史街道との観光資源の一体的な活用を進めるとともに、観光ボランティアガイドのさらなる活用に向けた制度の啓発に努めます。

補助拡大に努めます。平成12年に策定した「第4次総合計画」も残り2年となり、新たに今後10年間のまちづくりを方向付ける「第5次総合計画」は、新

子育で支援の充実に向け、乳幼児等医療助成事業の対象を、新たに小学校就学前までの通院、および小学校6年生までの入院の一部負担金の無料化に取り組みとともに、認可外保育所などの利用者への助成金の拡大などを行います。

また、歴史街道の拠点施設「多田銀銅山 悠久の館」をさらに親しまれる施設となるよう努めます。

また、団塊世代の生きがいづくりでは、町内産野菜を使った料理教室や

講演会などとともに、知識・技術を人材情報として分野ごとにまとめ、まちづくり活動で生かせるよう支援します。

産業のまちづくり
農地の多面的機能の保全と積極的活用のため、法人組織設立なども視野に入れ、適正な農地活用に取り組みます。

観光では、近隣市町・民間事業者などが相互連携し地域の活性化を図る(仮称)猪名川上流の地



活躍が期待される観光ボランティアガイド

今月号の主な内容

2面 4月1日付職員定期異動
3面 住基カード交付手数料が無料に
4面 5面 平成20年度当初予算が可決
6面 情報ポータル
7面 図書館・相談あれこれ
8面 いながわ特派員報告